

令和6年度プロジェクトチーム最終報告

戦略的情報発信力向上PT

設置目的

市政情報の発信において様々なツールの活用がなされる中で、職員自らが「伝える力」を習得し、向上するために必要となるスキルを専門事業者等の支援を通じて習得することと併せて、情報発信効果の高い事例やAIを活用した記事作成などのノウハウに関して、先進事例等の調査、研究をおこなう。

本日の内容



＼キーワード／



多様性

さまざまな対象者に
市政情報を届けたい！

＼キーワード／



デジタル・AI

生成AIを活用して、
だれでも手軽に作成したい！

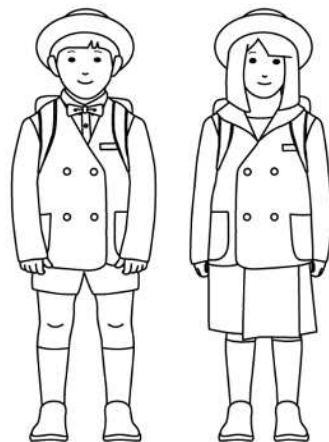


本日の内容

- 1 こどもを対象とした広報の検討
- 2 外国人を対象にした広報の検討
- 3 動画を使った広報の検討
- 4 デジタル広告の効果検証

戦略的情報発信力向上PT

1 こどもを対象とした広報の検討



1 こどもを対象とした広報の検討

こどもを対象とした広報媒体の例

小学生新聞

小中高生向きに
時事ニュースを
わかりやすく解説

今治市の「こども版」 作成の事例



第2次今治市総合計画
バリエさん版

- ・データのみ作成
- ・ホームページで公開

こども広報 他自治体の取り組み

オリジナル広報とは別物で、
こども広報用に独自に作成

- 東大阪市：子ども市政だより「すくらむ」H17年から年2回発行
- 春日井市：「こども広報春日井」H22年から年2回発行
- 四日市市：「四日市こども広報」H29年から2月に1回発行
- 小牧市：「こども広報こまき（KOKOこま）」
H30年から年2回発行
- 磐田市：「こども版広報いわた（ココいーわ）」
R4年から年2回発行（タブレット端末にて配信）
- 深谷市：「こども広報」R6年から発行（タブレット端末にて配信）
- 熊谷市：「こども広報くまがやキッズ」年6回発行し

子どもが記者となってこども広報を作成

- 葛飾区：「こども広報」H12年から年1回
広報誌の紙面に掲載（区内小中学生が取材）
- 燕市：「広報つばめ子ども版」H24年から年1回発行
（子ども記者が作成）
- 加須市：「子ども広報かぞ」中学生が作成

1 こどもを対象とした広報の検討

生成 A I を活用し、今治版「こども広報」を作成



生成 A I (Copilot) で
文章を小学生向けに変換



小学校教員にインタビュー



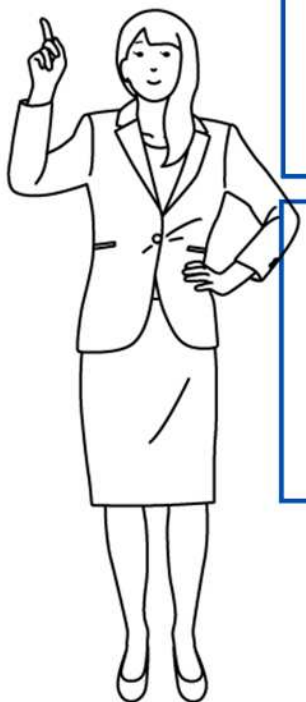
1 こどもを対象とした広報の検討

こども広報の効果と課題

効果

プロンプトの作成、こども広報の様式の作成が必要なため始めに時間がかかるが、作成できれば時間短縮できる。

インタビューから「既存の広報は読んでいる印象はない」とのことで、こども版を作成することにより市政への関心を持たせるツールの1つとなり得る。



課題

文章に違和感があるため、校正が必要不可欠。

生成AIでの変換後、小学生で習わない漢字が出てくるため、ふりがなが必要。

学校でタブレット使用のルールが決まっているため、配信となると読む時間帯等が限られてしまう。

文章量やレイアウト等から、対象者を絞る必要があるかもしれない。
(ある程度文章を読むことができる小学校高学年以上)



1 こどもを対象とした広報の検討

必要経費

タブレット配信を想定した場合 印刷製本費 0 円
ほか デザイン費
配信等の委託費 etc...



戦略的情報発信力向上PT

2 外国人を対象にした広報の検討



2 外国人を対象にした広報の検討

市内在住のALT2名に、「広報いまばり」についてインタビューを実施



知りたい情報としては、
イベントや観光スポット、生徒に関連するもの。

最近では、翻訳アプリを使っている人がほとんど。
紙媒体の広報いまばりの文面をスキャンして
英訳することも可能。

英語以外に必要な言語としては、
ベトナム語も挙げられた。
ベトナム人のなかには、英語を話せない人もいる。

2 外国人を対象にした広報の検討

多言語に対応した広報誌の今後と課題

多言語に対応した広報誌について

「マイ広報紙」というサービスに
広報いまばりを掲載しており、
多言語対応の有料プランに加入する
ための予算取りをする予定。
(秘書広報課)



課題

多言語に対応した広報紙を発行する
ことで、より多くの外国人に市政
情報に触れてもらうことができるが、
求めている情報と掲載情報の乖離が
あるため、求めている情報に
アクセスする手段の提供が必要。

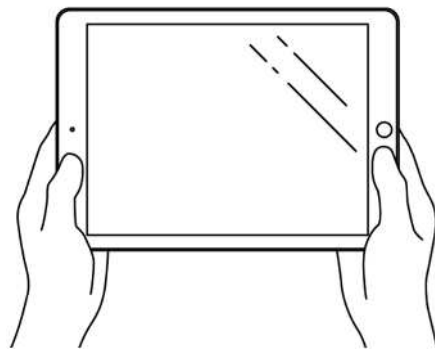
生成AIの活用については、SNS等
報誌以外の情報発信に使用する方向で
検討したほうが良いと思われる。

(X (旧Twitter) やInstagramの
外国語投稿や外国語版アカウントの
作成等)



戦略的情報発信力向上PT

3 動画を使った広報の検討



3 動画を使った広報の検討

HeyGenでのAIアバターを作成



HeyGen (ヘイジェン) とは

AIが生成したアバターや音声を使用して、
高品質な動画を制作することができるAIツール



3 動画を使った広報の検討



3 動画を使った広報の検討

HeyGenでのAIアバター作成の効果と課題

効果

多言語対応

AIアバターが多言語（英語やフランス語等）で市政情報を発信。これにより市内在住の外国人に向け効率よく情報を提供できる。

プロモーション

新聞や広報誌を読まない人に対しては、市政に興味を持ってもらう機会になり得る。

コスト削減

従来の動画制作に比べて低コストで高品質な動画が作成可能。また、短時間で多くの動画を生成可能。

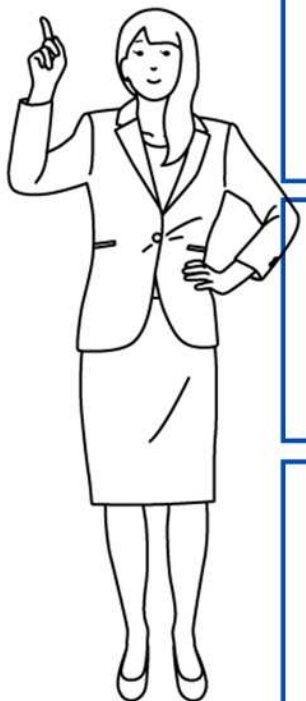
課題

HeyGenのサイトは英語のみ。

発信したい情報をテキストに入力する際、AIは漢字を上手く読めないことがあるので、所々ひらがなで入力する必要がある。

発音やイントネーションがおかしい時がある。

登録者本人の動画しか作成できない。AIアバターを作成する際、登録者本人が誓約文章を読み上げる動画を撮影しなければならない。



3 動画を使った広報の検討

必要経費

HeyGenの利用料金

Free… 0 円／月（\$ 0／Mo）最長動画 1 分

Creator… 約 4,176 円／月（\$ 29／Mo）最長動画 5 分

Business… 約 12,816 円／月（\$ 89／Mo）最長動画 20 分



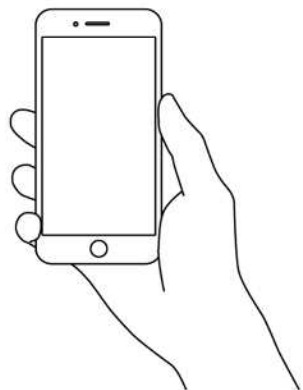
戦略的情報発信力向上PT

4 デジタル広告の効果検証



4 デジタル広告の効果検証

デジタル広告とは



デジタル技術を使って表示される広告の総称。
主にインターネットやデジタルメディアを通じて
配信され、様々な形態や特徴を持っている。

	ターゲティング	主目的	コスト	掲載までの期間	効果測定	広告修正
デジタル広告	特定のユーザー	認知拡大 購買促進	高い	早い	短い	可能
マス広告	不特定多数の ユーザー	認知拡大	安い	遅い	長い	不可

4 デジタル広告の効果検証

SNS (X・Instagram) 広告を作成し、効果検証を実施

呉×今治 瀬戸内暮らしフェア in 東京 (2024.11.2)



4 デジタル広告の効果検証

SNS広告コンテンツ 実施結果

広告グループ	表示回数	クリック数	クリック率	リーチ	Google Analytics側	エンゲージメント数	エンゲージメント率	GF申込数	会場数
動画-X	115,409	150	0.13%	86,288	265	60	22.64%	0	0
画像-X	172,945	189	0.11%	102,297					
動画 - IG	40,727	722	1.77%	31,552	1,187	177	14.91%	1	1
画像 - IG	46,859	529	1.13%	31,917					
(375,940)		(1,590)	(252,054)		(1,452)	(237)			

【補足説明】

リーチ：ユニークユーザーへ広告表示できた数

エンゲージメント：ページビュー、スクロール、リンクへのクリック、ページに長く留まるなどが観測された数

※多様なSNS広告の存在により、統一的な数値指標はない

4 デジタル広告の効果検証

SNSを中心とした情報タッチポイントの効果検証

	X 	Instagram 
動画	クリック率は画像広告より高い傾向。 ただし、Instagram と比較するとやや劣る。	<u>クリック率は最高値を記録。</u> クリック率が優れている一方で、 実際の申し込みに結びつかなかった。
画像	表示回数、リーチは <u>全パターンの中で最も高い数値。</u> 潜在的な移住希望者への認知度向上に 貢献した。	<u>質の高いエンゲージメント数を記録。</u> 広告内容が潜在的な移住意欲を刺激した。

Instagram の画像広告は、移住フェアへの参加意欲を高める要因となった。
一方で、X（旧 Twitter）広告はエンゲージメント率がさらに高かったものの、
Instagram の方が実際のフェア来場につながった。

4 デジタル広告の効果検証

必要経費・今後の戦略

広告費・デザイン費等 上限なし

(※今回業務の場合、広告運用費：20万円)



⇒今回検証結果を基準にして検討する

(検討例：SNS別の広告コンテンツ内容、ターゲット属性などの広告設計)

まとめ

＼キーワード／



多様性

さまざまな対象者に
市政情報を届けられる！

＼キーワード／



デジタル・AI

生成AIを活用して、
だれでも手軽に作成できる！



ご清聴ありがとうございました